

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 交通安全施設の整備	② 施策番号	1512
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 交通安全の推進		
⑥ 担当部名 総合政策部	⑦ 担当課名 人権推進課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	路上駐車を解消し、もって交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	一世帯あたりの保有台数が増加傾向にあることから、引き続き需要が見込まれる。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 稼働率 計算式: 契約台数 ÷ 利用可能台数	%	決められた駐車場に停めるよう指導することで路上駐車対策となっている。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 稼働率	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	86	82	80	—	—	
		達成率	86.0%	82.0%	80.0%			
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1	駐車場管理運営委託事業	稼働率	%	82	80	80	3,812	3,606	3,645	A	ア	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						3,812	3,606	3,645			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	生活道路を主とした道路環境の維持・向上を図り、市民の交通安全意識の向上へつながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	利用率は、80%台で推移しており、駐車場の必要性が読み取れる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	NPO法人へ管理委託しており、市と団体の役割分担は適切と考える。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	現状では適切と考える。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	—

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	駐車場設置より20年以上が経過しており、今後は修繕等に多額の費用が必要となる。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	軽微な修繕等の対応
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	継続的に軽微な修繕等の対応
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	アスファルトの老朽化が進んでおり、大規模改修が必要である。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	稼働率が80%後半と比較的高い稼働率で推移しており、施策として適切に行われている。 老朽化対策にあたっては、関係部署と十分検討のうえ、対応を進められたい。	